

～～市民活動団体の活動内容～～

団体名（ 大江戸相撲甚句会 ）

団体の活動内容

【すべて公開】

（１）団体の活動目的

大江戸相撲甚句会は、日本相撲甚句会に所属し、日本の国技であります相撲と共に、古くは江戸時代から唄い継がれている日本の伝統芸能「相撲甚句」を通じて、社会貢献を目的に活動しています。

会長の、瀬下和彦は、日本相撲甚句会認定指導員、日本相撲甚句会師範として活動、2013年度日本相撲甚句全国大会において優勝、2016年全国大会では敢闘賞受賞と相撲甚句界では全国1位の評価を頂いています。又、2023年全国大会では、団体として技能賞の獲得、個人でも本唄賞を受賞する等レベルアップを図っています。

（２）団体の活動内容（詳細） ※活動風景等の写真があれば掲載をお願いします。

相撲甚句会館を練習拠点として、毎月定期練習及び新田教室での独自自主練習を実施し実力向上を図っています。練習日は、大江戸相撲会館：毎月第3木曜日 14：00～16：00、新田教室

毎月第2日曜日 15：00～17：00です。会費：月額2000円

また、公演会の趣向を凝らす目的で、スコップ三味線演奏にもチャレンジし各種公演で好評を頂いています。

野田市内各種会合及びイベント等での出演依頼があり、年間20回以上の公演活動を実施しています。

NHK”おうちでのど自慢“出演、理科大主催の、運河シアターナイト参加・協賛等幅広く活動しています。



産業祭でのスコップ三味線演奏



守谷高野地区敬老会での公演



日本相撲甚句会全国大会での発表

（３）団体としてPRしたいこと、その他

- ・大江戸相撲甚句会では、メンバーを募集しています、相撲甚句は複式呼吸で唄うことで健康に良いと言われています。体力づくりも兼ねて一緒に活動しませんか。
- ・東部アーバンライン運河駅 運河交流館ブースでビデオ放映 大江戸相撲甚句会は毎日10分間繰り返し放映されます。
- ・大江戸相撲甚句会館は、食堂・居酒屋も営業しており、本格的な音響環境で（カラオケ等）メンバーの懇親会も兼ねて利用しています。